

平成 23 年 1 月 27 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名
東京都港区愛宕二丁目 5 番 1 号
平和不動産リート投資法人
代表者名 執行役員 東原 正明
(コード番号：8966)

資産運用会社名
平和不動産アセットマネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 市川 隆也
問合せ先 I R 部長 伊藤 真也
TEL. 03-5402-8731

ポリ塩化ビフェニル (PCB) の変圧器内絶縁油への混入に関する調査結果について (第三報)

平和不動産リート投資法人 (以下「本投資法人」といいます。) は、掲題の件に関し、平成 19 年 3 月 6 日付第一報及び平成 20 年 1 月 22 日付第二報で、それぞれ Of-11 日本橋第一ビル及び Of-14 KCA ビルの調査結果において変圧器内の絶縁油から微量のポリ塩化ビフェニルが検出された旨をご報告済みですが、その後に順次行っている自主調査の結果、本日までに検出報告は受けていないことをお知らせいたします。

本投資法人は、かかる 2 物件について「電気関係報告規則」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、経済産業大臣及び東京都知事へ保管状況等の届出を継続して行い、適切に保管していますが、撤去等の処理を行う時期は未定です。

なお、このことにより、本日公表の平成 23 年 5 月期 (平成 22 年 12 月 1 日～平成 23 年 5 月 31 日) の業績予想への影響はありません。

また、調査未了の物件及び今後取得する物件については、変圧器内の絶縁油から微量のポリ塩化ビフェニルが検出された場合に、ご報告いたします。

(注) ポリ塩化ビフェニルは、昭和 47 年以降、通商産業省 (現経済産業省) の行政指導により、電気機器への使用が実質的に禁止されていますが、平成 15 年には、社団法人日本電気工業会から経済産業省に宛てて、平成元年以前に製造された変圧器等の絶縁油については、微量のポリ塩化ビフェニルが混入している可能性を否定できない旨の報告がされています。

以 上

- * 本資料の配布先 : 兜クラブ、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会
- * 本投資法人のホームページアドレス <http://www.heiwa-re.co.jp/>

(参考資料)

(平成 23 年 1 月 27 日現在)

調査対象物件		調査結果	建築時期
0f-01	朝日生命五反田ビル	検出なし	昭和 55 年
0f-05	水天宮平和ビル	検出なし	平成 3 年
0f-06	NV 富岡ビル	検出なし	平成 2 年
0f-07	浜松町 SS ビル	検出なし	平成 3 年
0f-08	国際溜池ビル	検出なし	平成 4 年
0f-09	グレイスビル泉岳寺前	検出なし	平成 6 年
0f-10	日総第 15 ビル	検出なし	平成 5 年
0f-11	日本橋第一ビル	微量の検出あり	昭和 63 年
0f-12	八丁堀 SF ビル	検出なし	平成 3 年
0f-14	KCA ビル	微量の検出あり	昭和 62 年
0f-15	大和中目黒ビル	検出なし	昭和 63 年
0f-16	安和司町ビル	検出なし	平成 2 年
0f-17	八丁堀 MF ビル	検出なし	平成 9 年
0f-18	エムズ原宿	検出なし	昭和 45 年 (注 1)
0f-19	三宮三和東洋ビル	検出なし	平成 2 年
0f-20	船橋 Face ビル	建築時期より調査対象外	平成 15 年
0f-21	アデッソ西麻布	建築時期より調査対象外	平成 15 年
0f-22	CIC 虎ノ門ビル	検出なし	平成 2 年
0f-23	アリア池袋	検出なし	平成 5 年
0f-24	CIC 湯島ビル	検出なし	平成 1 年
0f-25	茅場町平和ビル	調査未了 (注 2)	平成 4 年

(注 1) 0f-18 エムズ原宿については、平成 13 年に全面改修工事を行い、変圧器も交換しています。

(注 2) 0f-25 茅場町平和ビルについては、変圧器製造者が開示している調査結果によると、微量のポリ塩化ビフェニルを含有する絶縁油を使用している機器品番には該当していないことが確認されましたが、本投資法人は、絶縁油の抜き取り分析調査を実施することを予定しています。